

燃やせるごみからリサイクル資源へ

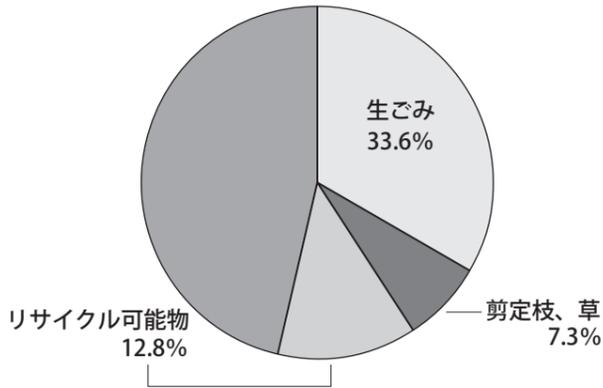
ごみ減量に待ったなし
合言葉は「わたしから始めるごみ減量！」※

組成分析調査を実施

ごみの減量化とリサイクルの取り組みを効果的に進めるため、昨年の8月に町内のごみステーションに出された燃やせるごみの組成分析調査を実施。

▼組成分析調査の内訳

燃やせるごみ		単位(%)	
廃棄物の種類	割合	廃棄物の種類	割合
生ごみ	33.6	古紙類	4.9
布類	1.4	容器包装プラスチックなど	7.9
プラスチック類	3.8	かん類、びん類、金属等	0.3
剪定枝・草	7.3	その他	
リサイクルできない紙、布類	29.5		
その他	11.3		



その結果、燃やせるごみの中には、生ごみが33.6%と最も多く含まれ、次に多かったのは容器包装プラスチック7.9%、剪定枝・草7.3%でした。また、雑がみ(お菓子の箱、包み紙等)や紙パックなどの古紙類も多く含まれていました。

生ごみの重量を減らすリサイクル率を高める

生ごみの約8割は水分であるため、よく水切りをしてから一晚乾燥させて出すことで、燃やせるごみの重量を約2割減らすことができます。

草にも生ごみ同様に水分が多く含まれているため、数日間乾燥させてから出すことで重量を減らすことができます。

リサイクル可能な古紙類や容器包装プラスチックは資源ごみとして出すことで、燃やせるごみの重量を1割程度減らすことが可能で、リサイクル率を高めることができます。

わたしから始めること

①生ごみは、指定の袋に入れる前に、三角コーナーと水切りネットを活用して、十分水気を切りましょう。



▲しっかりと水気を切りましょう



▲三角コーナーなどで水切り

※県では、ごみの排出量削減に向けた取り組みとして、「ごみ減量キャッチコピーコンテスト」を実施しています。表題は今年度の最優秀賞作品です。

【問い合わせ先】
町民生活課 環境係
☎(62) 2114

- ②生ごみは、コンポスト容器などを利用し、堆肥化して再利用するか、キエーロ※などを利用して、処分しましょう。
- ③食材を使い切れるように「賞味期限」や「消費期限」の把握と、料理は残さず食べましょう。
- ④剪定枝・草はなるべく自家処理し、土に返しましょう。自家処理できない場合は、乾燥させてから出しましょう。
- ⑤雑がみや紙パックなどの古紙類と容器包装プラスチックは、分別して、燃やせるごみではなく資源ごみに出しましょう。

目標年度までに90%削減が必要

町は、令和9年度までに1人1日当たりの家庭系燃やせるごみの排出量を440gにする目標を設定しています。

今年度の同排出量は530gで、目標達成には、90%の削減が必要になります。

一人一人のちよつとした心掛けてごみは削減できます。

猪苗代町を「ごみが少ない町」にするために皆さんの協力を願います。

町のごみ減量化目標

家庭系燃やせるごみの排出量	実績値 (R4)	現状値 (R5)	目標値			
			(R6)	(R7)	(R8)	(R9)
全町民 / 1年	2,691ト	2,500ト	2,412ト	2,293ト	2,175ト	2,057ト
1人 / 1日	559g	530g	506g	484g	462g	440g

※キエーロとは

土に住む微生物の働きにより生ごみを分解する仕組みのことです。コンポストとは違い堆肥はできませんので、堆肥の処分に困ることはありません。また、ベランダなどでできるもので、広い敷地がなくても始められます。

キエーロの作り方は、容器に土を入れて蓋を被せるだけです。土は庭土でも問題ありませんが、黒土がベストです。使い方は、穴を掘り、生ごみと土(乾いている場合は少量の水を加えます)をよく混ぜて、乾いた土で覆うだけです。



▲削減型生ごみ処理容器「キエーロ」

福島県環境アプリを活用しましょう

県が運営する「福島県環境アプリ」で、猪苗代町のごみの収集日や出し方(分別)を確認することができます。

アプリには、ごみ収集日の通知機能がついているため、ごみの出し忘れを防ぐことができます。そのほかにも、毎日のエコ活動でポイントを獲得し、県産品が当たる抽選に応募もできますので、ぜひご利用ください。



▲QRコードからアプリがダウンロードできます

▼問い合わせ先
県一般廃棄物課
☎024(521)7249

使用済み乾電池の回収を始めます

使い終わった乾電池は、燃やせないごみには出さずに、次の施設に設置してある「使用済み乾電池回収ボックス」に袋に入れずに出してください。

回収する乾電池の種類

- アルカリ乾電池
- マンガン乾電池

※リチウム乾電池、充電電池、ボタン電池は回収しません。

回収ボックス設置場所

- 町役場正面玄関
- 体験交流館(学びいな)玄関
- 図書歴史情報館(和みいな)玄関
- 総合体育館(カメリーナ)玄関

※各イベント(粗大ごみ、小型家電・古着回収、食器回収等)の際にも回収ボックスを設置しますので、ご利用ください。

「小型家電」の出し方が変わります

令和6年度から、「小型家電」は袋には入れずに、ごみ収集所に設置してあるコンテナに入れてください。

小型家電の日

- 5月23日(木)
- 8月22日(木)
- 11月14日(木)

大きなものはコンテナには入れず、収集所内に直置きしてください。



【出すときの注意点】

- ・乾電池は必ず取り外してから出してください。
- ・収集所に出せる小型家電は、町指定のごみ袋に入る大きさのものです。それ以外は、ごみ収集車では回収できませんので、「粗大ごみ」に出してください。
- ・小型家電以外のごみは、回収しません。
- ・ファンヒーターや石油ストーブは、給油タンクを空にしても内部に残った灯油が漏れる場合がありますので、「粗大ごみ」に出してください。
- ・詳細については、ごみリサイクルカレンダーをご覧ください。

令和6年度粗大ごみ受入日程一覧

4月6日(土)	午前9時～午前11時45分
4月7日(日)	午前9時～午前11時45分 午後1時～午後4時
5月1日(水)	午前9時～午前11時45分
5月2日(木)	午前9時～午前11時45分
6月3日(月)	午前9時～午前11時45分
6月4日(火)	午前9時～午前11時45分
7月7日(日)	午前9時～午前11時45分 午後1時～午後4時
8月2日(金)	午前9時～午前11時45分
8月3日(土)	午前9時～午前11時45分
9月5日(木)	午前9時～午前11時45分
9月6日(金)	午前9時～午前11時45分
10月6日(日)	午前9時～午前11時45分 午後1時～午後4時
11月1日(金)	午前9時～午前11時45分
11月23日(土)	午前9時～午前11時45分

※4月は混雑を避けるため、2日間実施しますが、両日の持ち込みはできません。12月～3月の受け入れはありません。

粗大ごみで持ち込めるものは、町指定の袋に入らない家庭のごみで、町が引き取りできるものです。ごみリサイクルカレンダーを確認し、受け入れ日に旧衛生センター(名家地区)に受付票を持参し、持ち込んでください。受付票は町民生活課の窓口で配布または町ホームページからダウンロードできます。

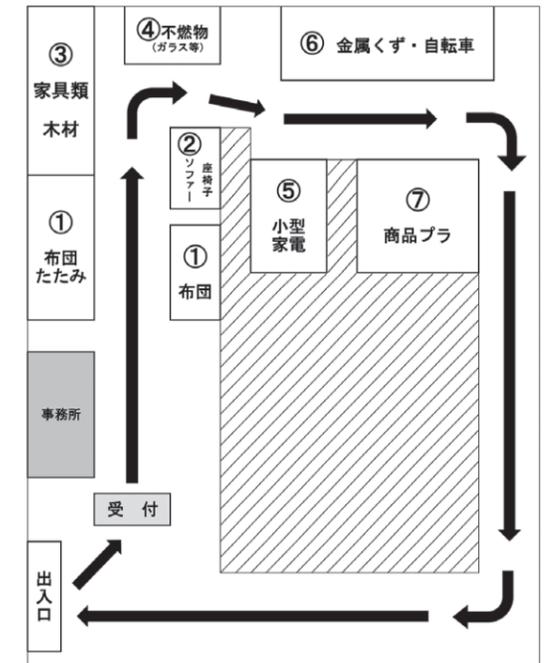
持ち込めるごみの量は1日1回、軽トラック1台分です。「受付票」の提出は、町内から発生した家庭ごみであるかの確認を目的としています。その際に運転免許証等を提示していただき本人確認を行います。代理人の

みの持ち込みは認めません。必ず本人も同乗してください。また、畳の持ち込みには事前予約が必要です。粗大ごみ受け入れ日の前日(休日)が受入日の場合は、直前の開庁日(午後4時)までに、町民生活課環境係にご連絡ください。

1回で持ち込むことができる畳は8枚までです。その日の受け入れ可能枚数に達した場合には、次回の受け入れ日に持ち込んでください。

▲落石に注意
旧衛生センター入口までの道路の一部で、山からの落石がみられます。通行の際には、誘導員の指示に従い、十分注意しながら通行してください。

粗大ごみ受け入れ順路



※粗大ごみの受け入れは、この順番で行います。ごみを車に積み込む際は、最後に下ろすごみから積み込むようにしてください。

70歳以上の高齢者世帯のごみ出し支援を行います

- ▼回収数量
1回の申し込みにつき5品まで
- ▼回収場所
自宅玄関前
- ▼その他
次に該当する場合は、回収をお断りします。
①車を所有している、旧衛生センターまで持ち込める場合
②別世帯であっても車を所有している人と同居している場合
③自宅玄関前まで搬出できない場合

受付後、ご相談の上で決定します。